



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

コード番号 8006 URL <http://www.y-f.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 森 雅俊

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	55,129	△1.6	730	△21.3	838	△15.1	479	△12.0
23年3月期第2四半期	56,050	△3.7	928	30.4	987	33.2	545	20.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 642百万円 (349.2%) 23年3月期第2四半期 142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.43	—
23年3月期第2四半期	11.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	45,383	22,147	48.0	473.66
23年3月期	45,627	21,876	47.2	467.76

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 21,789百万円 23年3月期 21,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,500	△0.3	1,950	1.2	2,050	0.8	1,050	4.2	22.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	48,977,231 株	23年3月期	48,977,231 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,975,780 株	23年3月期	2,975,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	46,001,597 株	23年3月期2Q	46,009,859 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記事項	10
(8) 重要な後発事象	10
5. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動の停滞から回復の兆しが見られるものの、原子力発電所の事故による放射能災害や円高が長期化するなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、節約意識の高まりから消費が低迷する中、販売競争は激化しました。また、ビジネスホテル業界におきましては、震災直後の自粛ムードは徐々に緩和しましたが、円高の影響などにより訪日外国人客は減少傾向が続きました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高551億29百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益7億30百万円（前年同期比21.3%減）、経常利益8億38百万円（前年同期比15.1%減）、四半期純利益4億79百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

事業別セグメントの概況

①商事部門

商事部門におきましては、震災の影響による飲料など一部商品の需要が一巡した以降は、その反動と節約意識の高まりによる低価格志向が相まって、消費は低迷し厳しい状況にありました。

このような中、商品供給を的確に行う中で、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では砂糖、冷凍・チルド商品、菓子が増加しましたが、酒類が減少し前年同期を若干下回りました。業務用商品では小麦粉が減少しましたが、油脂の価格上昇、販売数量増もあり前年同期を上回りました。飼料畜産では畜産の取り扱い数量が減少しましたが、飼料の価格上昇、販売数量増などにより前年同期を上回りました。米穀では家庭用精米が増加しましたが、業務用精米、玄米取引が減少し前年同期を下回りました。

その結果、商事部門全体の売上高は533億3百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は8億93百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

②ホテル部門

ホテル部門におきましては、震災直後は自粛ムードから予約のキャンセルが相次ぎ、団体客などが激減しましたが、後半は、ビジネス客を中心に徐々に回復傾向にありました。しかしながら、放射能問題や円高の影響により訪日外国人客が減少する中、競合ホテルとの競争は厳しい状況が続きました。

その結果、売上高は14億47百万円（前年同期比24.8%減）、営業利益は13百万円（前年同期比90.3%減）となりました。

③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は3億78百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は3億13百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少1億93百万円、受取手形及び売掛金の減少3億53百万円、商品及び製品の増加1億98百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億56百万円、未収入金の増加3億26百万円など流動資産が2億3百万円減少し、建物及び構築物の減少1億46百万円、投資有価証券の増加3億30百万円など固定資産が40百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少し453億83百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加5億7百万円、短期借入金の減少9億1百万円、未払法人税の減少2億60百万円、長期借入金の増加4億円などにより、前連結会計年度末に比べ5億15百万円減少し232億36百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加1億11百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億59百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加し221億47百万円となりました。自己資本比率は48.0%となりました。

当期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益8億20百万円、減価償却費3億33百万円、売上債権の増減額3億60百万円、仕入債務の増減額5億7百万円、法人税の支払額△5億22百万円などにより8億57百万円（前年同期比10億82百万円減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出△68百万円、投資有価証券の取得による支出△51百万円などにより△1億10百万円（前年同期比1億24百万円減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の純増減額△3億75百万円、長期借入れによる収入5億57百万円、長期借入金の返済による支出△6億82百万円、配当金の支払額△3億68百万円などにより△9億30百万円（前年同期比10百万円減）となりました。その結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は38億92百万円（前年同期比8億37百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降も当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、連結業績予想につきましては変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,199	4,006
受取手形及び売掛金	12,906	12,553
有価証券	5	5
商品及び製品	1,187	1,385
仕掛品	27	25
原材料及び貯蔵品	355	198
繰延税金資産	131	84
未収入金	2,382	2,708
その他	68	95
貸倒引当金	△107	△109
流動資産合計	21,158	20,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,753	13,663
減価償却累計額	△9,016	△9,072
建物及び構築物(純額)	4,736	4,590
機械装置及び運搬具	1,799	1,839
減価償却累計額	△1,473	△1,523
機械装置及び運搬具(純額)	325	315
土地	10,611	10,606
その他	1,307	1,350
減価償却累計額	△1,061	△1,089
その他(純額)	246	261
有形固定資産合計	15,920	15,773
無形固定資産		
ソフトウェア	147	81
その他	168	163
無形固定資産合計	315	244
投資その他の資産		
投資有価証券	4,307	4,637
長期貸付金	482	467
繰延税金資産	966	825
差入保証金	2,476	2,488
その他	349	330
貸倒引当金	△348	△338
投資その他の資産合計	8,233	8,410
固定資産合計	24,469	24,429
資産合計	45,627	45,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,794	15,302
短期借入金	4,676	3,775
未払法人税等	536	276
賞与引当金	96	95
災害修繕引当金	65	26
その他	1,533	1,352
流動負債合計	21,703	20,828
固定負債		
社債	35	30
長期借入金	497	897
退職給付引当金	603	595
役員退職慰労引当金	22	21
負ののれん	20	14
長期未払金	222	186
その他	647	663
固定負債合計	2,047	2,407
負債合計	23,751	23,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	11,060	11,171
自己株式	△623	△624
株主資本合計	21,611	21,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△94	65
その他の包括利益累計額合計	△94	65
少数株主持分	358	358
純資産合計	21,876	22,147
負債純資産合計	45,627	45,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	56,050	55,129
売上原価	50,204	49,843
売上総利益	5,846	5,285
販売費及び一般管理費	4,917	4,554
営業利益	928	730
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	78	78
その他	58	61
営業外収益合計	156	154
営業外費用		
支払利息	42	27
為替差損	44	7
その他	10	11
営業外費用合計	97	46
経常利益	987	838
特別利益		
投資有価証券売却益	4	—
貸倒引当金戻入額	3	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産処分損	2	2
減損損失	2	4
投資有価証券評価損	59	—
東日本震災損	—	12
特別損失合計	64	18
税金等調整前四半期純利益	931	820
法人税、住民税及び事業税	397	256
法人税等調整額	△1	80
法人税等合計	395	337
少数株主損益調整前四半期純利益	536	482
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	3
四半期純利益	545	479

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	536	482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△393	159
その他の包括利益合計	△393	159
四半期包括利益	142	642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152	639
少数株主に係る四半期包括利益	△9	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	931	820
減価償却費	354	333
減損損失	2	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	△8
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△35
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△7
災害修繕引当金の増減額(△は減少)	—	△39
受取利息及び受取配当金	△98	△93
支払利息	42	27
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	2
売上債権の増減額(△は増加)	△49	360
たな卸資産の増減額(△は増加)	400	△39
その他の資産の増減額(△は増加)	△303	△348
仕入債務の増減額(△は減少)	764	507
その他の負債の増減額(△は減少)	△148	△113
その他	102	△55
小計	2,005	1,315
利息及び配当金の受取額	96	93
利息の支払額	△42	△28
法人税等の支払額	△119	△522
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,939	857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34	△68
投資有価証券の取得による支出	△2	△51
投資有価証券の売却による収入	122	—
貸付金の回収による収入	13	13
その他	△84	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	14	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△51	△375
長期借入れによる収入	300	557
長期借入金の返済による支出	△750	△682
配当金の支払額	△368	△368
その他	△50	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△920	△930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,003	△190
現金及び現金同等物の期首残高	3,726	4,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,730	3,892

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,744	1,923	382	56,050	—	56,050
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6	—	18	25	(25)	—
計	53,751	1,923	401	56,076	(25)	56,050
セグメント利益	963	136	318	1,418	(490)	928

(注) 1. セグメント利益の調整額△490百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△487百万円、その他1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,303	1,447	378	55,129	—	55,129
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	19	22	(22)	—
計	53,306	1,447	398	55,151	(22)	55,129
セグメント利益	893	13	313	1,220	(489)	730

(注) 1. セグメント利益の調整額△489百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△490百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の注記事項

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	35,547	35,467	99.8
業務用商品	7,777	7,981	102.6
米穀	5,290	4,677	88.4
飼料・畜産	5,129	5,176	100.9
商事部門計	53,744	53,303	99.2
ホテル部門	1,923	1,447	75.3
不動産部門	382	378	98.9
合計	56,050	55,129	98.4